

## 聖マリア病院を過去に受診された、または現在受診中の皆様へ

聖マリア病院では、皆様の診療情報等を利用し、下記の研究を実施しております。

研究内容につきましては、社会医療法人雪の聖母会、研究倫理審査委員会にて承認されたものです。本研究の対象者に該当される可能性のある方で、研究について詳細にお知りになりたい場合や診療情報等を研究目的に利用してほしくない場合は、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。なお、解析用のデータが確定（データ固定）している場合は、研究データから情報を削除できませんので、ご了承ください。

① 研究課題名	橈骨遠位端骨折術後患者の術後翌日の運動恐怖感が術後 4 週時の関節可動域に与える影響		
② 実施予定期間	承認後 ～ 2026 年 4 月 30 日		
③ 対象患者	橈骨遠位端骨折と診断され、手術を施行された方のうち、術後から外来リハビリまで当院で受けられた方		
④ 対象期間	2020 年 4 月 1 日 ～ 2023 年 4 月 30 日		
⑤ 研究機関の名称	社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院		
⑥ 対象診療科	整形外科		
⑦ 研究責任者	氏名	吉瀬 陽	所属   リハビリテーション室
⑧ 使用する資料等	診療情報等より下記事項を調査します。 基本情報：年齢、性別、疾患名、骨折型（AO 分類）、既往歴、認知症の有無、合併骨折の有無、合併症の有無、受傷日、入院期間 手術に関して：手術日、術式、手術時間（駆血時間含む）、受傷から手術までの期間、内視鏡の有無 リハビリに関して：改訂長谷川式簡易知能評価スケール（HDS-R）、手指・手関節・前腕関節可動域、安静時・運動時の疼痛の程度、運動恐怖感の程度、リハビリ実施期間		
⑨ 研究の概要	今回の研究は、橈骨遠位端骨折術後の方を対象に、手術直後の患肢の状態・心理的状态を評価し、患肢関節可動域の改善率に与える影響を調査することを目的としています。手術直後の運動恐怖が関節可動域の改善率に影響を与えることが明らかになることで、今後の治療方針が明確となり、介入の指標として有益な情報になると考えられます。		
⑩ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑪ 結果の公表	学会や論文等で発表いたします		
⑫ 個人情報の保護	個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際、個人の特定につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて（このことを「匿名化」と言います）管理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。		

⑬ 知的財産権	聖マリア病院に属します	
⑭ 研究の資金源	なし	
⑮ 利益相反	研究結果に影響を与えるような利害関係はありません。	
⑯ データの2次利用	本研究で得られたデータ等の2次利用により新たな研究を行う場合は、改めて研究計画書を作成し、再度研究倫理審査委員会の審査を受けます。	
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	聖マリア病院 リハビリテーション室 吉瀬 陽	
	電話	0942-35-3322 (代表)